

土砂災害予測に関する研究集会 ー熊本地震とその周辺ー 参加案内

- ・趣旨：2016年4月には熊本地震に伴う斜面崩壊が発生し、その後の降雨による土石流も発生しています。ここでは、熊本地震をはじめとする地震や降雨がもたらす土砂災害と被災地域の対応などについて意見や情報を交換する場として研究集会を企画します。
- ・主催：国立研究開発法人 防災科学技術研究所（防災科研）
- ・後援：日本地すべり学会・日本応用地質学会・砂防学会・斜面防災対策技術協会
- ・開催日時：2016年12月8日(木)12:50～18:10、9日(金)9:00～15:55
- ・開催場所：防災科研 和達記念ホール（定員：250名）  
〒305-0006 茨城県つくば市天王台3-1  
<http://www.bosai.go.jp/introduction/project/location/location01.html>
- ・意見交換会：12月8日(木)18:50～20:30（送迎バス有）  
会場：ホテルグランド東雲（つくば駅から徒歩10分）  
<http://www.hg-shinonome.co.jp/>  
参加費：6,000円（税込）（当日受付でお支払いください）
- ・昼食弁当：本研究所食堂は小規模なためご利用になれません。また、研究所付近にレストラン等が少ないため、12月9日(金)の昼食のお弁当の注文を受け付けます。お手数ですが、昼食を持参いただくか、お弁当の予約をお願いいたします。1食500円(税込、お茶込)となっております(当日受付でお支払いください)。当日の販売はいたしませんのでご了承ください。
- ・参加申込：①参加者氏名、所属  
②メールアドレス  
③住所、電話番号  
④意見交換会出欠  
⑤12月9日(金)昼弁当予約有無  
を添えて下記アドレスまでメールでお申し込みください。  
[jisuberi@bosai.go.jp](mailto:jisuberi@bosai.go.jp)（担当：幸山・飯田）（電話：029-863-7579）
- ・参加申込期限：2016年11月30日(水)

**\*本研究集会はCPD認定プログラムではありません**

土砂災害予測に関する研究集会 - 熊本地震とその周辺 - プログラム

発表時間（特別講演以外）：質疑込みで1件15分。セッション別課題討論：15～20分。

<b>12/8（木）（午後）</b>		
12:50～12:55		開会挨拶 林 春男(防災科研 理事長)
12:55～13:00		趣旨説明
13:00～13:40		特別講演
小山内信智	北大	大規模地震時に発生する土砂災害
13:40～13:50		休憩
13:50～15:55		<b>セッション1: 降雨崩壊と深層崩壊</b>
植上 徹	防災科研	清水寺境内の現地観測における地下水位変動の一考察
石丸 聡	北海道立総合研究機構	北海道で急増した豪雨により顕著となった寒冷地の斜面堆積物の崩壊 - 2014年、2016年の豪雨災害による例 -
後藤 聡	山梨大学	火山灰分布域における斜面上火山砕屑物の地盤工学的特性と表層崩壊について
八反地 剛	筑波大学	地震とその後の降雨による表層崩壊 - 東北地方太平洋沖地震による茨城県北部の事例から -
沖村 孝	一般建設工学研究所	阪神・淡路大震災後の大雨警報の発令基準の変遷及び地震後と降雨後の表層崩壊発生場
地頭菌 隆	鹿児島大学	深層崩壊の発生危険斜面の抽出と警戒避難対応
林幸一郎	土研	空中電磁探査を用いた深層崩壊が発生する恐れのある斜面のリスク評価手法
		セッション1の課題討論
15:55～16:05		休憩
16:05～18:10		<b>セッション2: 計測と地震土砂災害</b>
石澤友浩	防災科研	センシングによる降雨時斜面の崩壊発生予測の検討
笹原克夫	高知大学	多数点に設置したMEMS傾斜計を用いた地すべり土壌の移動状況の詳細な計測
林 拙郎	静岡大学	地震による斜面崩壊への地質特性の寄与 - 能登半島地震の崩壊面積率より -
井口 隆	防災科研	熊本地震による阿蘇カルデラ内で起きた特徴的な地すべり変動について
稲垣秀輝	環境地質	熊本地震土砂災害の特徴
ハスバートル	アジア航測	震源断層タイプと地震による地すべり・崩壊の分布の特徴
内田太郎	国総研	地震による斜面崩壊危険度評価手法について
		セッション2の課題討論
18:50～20:30		<b>意見交換会</b>
<b>12/9（金）</b>		
9:00～10:30		<b>セッション3: 発生機構と対策</b>
林真一郎	北大	平成28年台風10号豪雨により北海道十勝地方で発生した土砂流出
若井明彦	群馬大学	火山砕屑物で構成される斜面の崩壊機構とその共通点
佐藤 剛	帝京平成大学	国際協力に日本の地すべり防災技術を生かす
上野将司	応用地質	斜面の二次災害事例と対応策
宮城豊彦	東北学院大学	地域レベルで減災を実現する工夫に関する一連の実施例
		セッション3の課題討論
10:30～10:40		休憩
10:40～11:55		<b>セッション4: 熊本地震1</b>
浅野陽一	防災科研	2016年熊本地震の概要
中埜貴元	国土地理院	干渉SARが捉えた小さな地表変位 - 熊本地震を例に -
佐々木靖人	土研	活断層近傍の道路斜面防災に関する課題
新井場公德	消防庁消防研究センター	崩壊地の調査、あなたは安全のため、何に気をつけていますか
		セッション4の課題討論
11:55～12:40		昼休憩
12:40～14:10		<b>セッション5: 熊本地震2</b>
酒井直樹	防災科研	熊本地震後の降雨による土砂災害の危険箇所とその観測対応時の課題
拝崎 昌雄	エー・シー・エス株式会社	阿蘇地域における中小河川流域の土砂災害危険度予測の試み
木村 誇	防災科研	リモートセンシングによる熊本地震後の斜面・地盤変動の広域的評価
中村真也	琉球大学	地震地すべりの発生場について - 熊本地震による地すべり・崩壊の事例から -
長谷中利昭	熊本大学	大峰火山の火山地質、周辺の斜面崩壊災害について
渡邊 勇	熊本大学	熊本地震による土砂災害リスク増大に対すミチゲーション政策
		セッション5の課題討論
14:10～14:20		休憩
14:20～15:50		<b>パネルディスカッション: 大地震後の自治体および研究者の対応</b>
15:50～15:55		閉会挨拶